

総務企画委員会 活動報告書

令和7(2025)年10月31日

宇都宮商工会議所
会頭 藤井 昌一様

総務企画委員会
委員長 若月 章男

当委員会では、令和4(2022)年度から委員会が所管する重要事項の調査・研究を進めてまいりました。

このほど、次に掲げる事項についての調査・研究が終了しましたので、その活動経過と結果についてご報告いたします。

総務企画委員会 委員名簿

令和7(2025)年10月31日現在

委員長	若月章男	鈴運メンテック(株) 代表取締役会長
副委員長	新井孝則	栃木トヨタ自動車(株) 代表取締役社長
委員	飯塚真規	(株)TKC 代表取締役社長執行役員
委員	石川均	トヨタウッドユーホーム(株) シニアエグゼクティブアドバイザー
委員	関口快太郎	(株)関口 代表取締役社長
委員	富川善守	(株)栃木銀行 代表取締役専務
委員	辻由兵衛	(株)辻由 取締役会長
委員	谷田部峻	谷田部石材販売(株) 取締役会長
委員	加納孝文	(株)ミットヨ 取締役常務執行役員 宇都宮統括部長
委員	村上龍也	(株)村上 代表取締役
委員	井上加容子	(株)井上総合印刷 代表取締役社長
委員	田野邊大介	東一字都宮青果(株) 代表取締役社長

以上12名

目 次

I	委員会の開催経過	1
	1 委員会の開催	
II	調査事項についての主な意見等	3
	1 令和4(2022)年度	
	(1) 第3回	
	2 令和5(2023)年度	
	(1) 第1回	
	(2) 第2回	
	3 令和6(2024)年度	
	(1) 第1回	
	(2) 第2回	
	4 令和7(2025)年度	
	(1) 第1回	
	(2) 第2回	
III	次期総務企画委員会における取り組みについて	8

I 委員会の開催経過

1 委員会の開催

(1) 令和4(2022)年度

ア 第3回

- (ア) 日 時 令和5(2023)年3月3日(金)
- (イ) 会 場 宇都宮商工会議所 常議員会室
- (ウ) 出席者 委員8名、事務局10名
- (エ) 内 容
 - (a) 宇都宮市への「令和5年度予算化及び措置要望」に係る回答について
 - (b) 第6期中期事業計画(案)について
 - (c) 第6期中長期財政計画(案)について
 - (d) 宇都宮商工会議所創立130周年記念事業(案)について
 - (e) 宇都宮商工会議所創立130周年記念ロゴマークについて

(2) 令和5(2023)年度

ア 第1回

- (ア) 日 時 令和5(2023)年7月25日(火)
- (イ) 会 場 宇都宮商工会議所 常議員会室
- (ウ) 出席者 委員7名、事務局9名
- (エ) 内 容
 - (a) 提言・要望事項に伴うアンケート調査報告書について
 - (b) 宇都宮市への「令和6年度予算化・措置要望」素案について

イ 第2回

- (ア) 日 時 令和5(2023)年12月7日(木)
- (イ) 会 場 宇都宮商工会議所 常議員会室
- (ウ) 出席者 委員6名、事務局9名
- (エ) 内 容
 - (a) 第6期中期事業計画1年目の中間報告について
 - (b) 宇都宮市への「令和6年度予算化・措置要望」について
 - (c) 創立130周年記念事業の実施結果について

(3) 令和6(2024)年度

ア 第1回

- (ア) 日 時 令和6(2024)年7月31日(月)
- (イ) 会 場 宇都宮商工会議所 常議員会室
- (ウ) 出席者 委員6名、事務局8名
- (エ) 内 容
 - (a) 提言・要望事項に伴うアンケート調査報告書について
 - (b) 宇都宮市への「令和7年度予算化・措置要望」素案について

イ 第2回

- (ア) 日 時 令和6(2024)年12月5日(木)
- (イ) 回答者 委員4名、事務局7名
- (ウ) 内 容
 - (a) 第6期中期事業計画2年目の中間報告について
 - (b) 宇都宮市への「令和7年度予算化及び措置要望」について

(4) 令和7(2025)年度

ア 第1回

- (ア) 日 時 令和7(2025)年8月8日(金)
- (イ) 会 場 宇都宮商工会議所 常議員会室
- (ウ) 出席者 委員4名、事務局7名
- (エ) 内 容
 - (a) 提言・要望事項に伴うアンケート調査報告書について
 - (b) 宇都宮市への令和8年度予算化・措置要望(素案)について

イ 第2回

- (ア) 日 時 令和7(2025)年10月28日(火)
- (イ) 会 場 宇都宮商工会議所 大会議室
- (ウ) 出席者 委員5名、事務局6名
- (エ) 内 容
 - (a) 第7期中期事業計画(素案)について
 - (b) 宇都宮市への「令和8年度予算化・措置要望」について

II 調査事項についての主な意見等

1 令和4(2022)年度

(1) 第3回

ア 宇都宮市への「令和5年度予算化及び措置要望」に係る回答について
委員からの意見は、特に無かった。

イ 第6期中期事業計画(案)について

事務局から第6期中期事業計画(案)について説明を行い、意見聴取を行った。委員からの主な意見は次のとおり。

- (ア) 中期事業計画の中に、未来のことを多く盛り込んでもらいたい。
- (イ) 半年後の予測も難しい中で、3年間の予測をすることはほぼ不可能な情勢である。そのため、本計画をブラッシュアップできる体制を整えてもらいたい。
- (ウ) J R宇都宮駅東口へのL R Tの開通に伴い、J R宇都宮駅西口延伸の話が頓挫しないよう、宇都宮商工会議所としても積極的に取り組んでほしい。
- (エ) 人手不足や少子化対策について、企業のみで解決できる問題ではないため、行政への提言・要望も含めて中長期的視点で取り組んでもらいたい。
➡ 委員からの意見を踏まえ、今後の計画への反映を検討することとした。

ウ 第6期中長期財政計画(案)について

事務局から第6期中長期財政計画(案)について説明を行い、意見聴取を行った。委員からの主な意見は、次のとおり。

- (ア) 長期の財政計画について予測がつかないことから、中期の段階で長期も見直すことの必要性を検討してほしい。
➡ 委員からの意見を踏まえ、今後の計画への反映を検討することとした。

エ 宇都宮商工会議所創立130周年記念事業(案)について

事務局からについて説明を行い、宇都宮商工会議所創立130周年記念事業(案)について、主に有名歌手を招いて行うスペシャルライブについて、意見交換が行われた。

オ 宇都宮商工会議所創立130周年記念ロゴマークについて

事務局からについて説明を行い、ロゴマークの選定について意見聴取を行った。

その結果、「Type A」、「Type D」、「Type E」の3案を、3月正副会頭会議に提出し、第二次審査を行うこととなった。

2 令和5(2023)年度

(1) 第1回

ア 提言・要望事項に伴うアンケート調査報告書について
委員からの意見は、特に無かった。

イ 宇都宮市への「令和6年度予算化・措置要望」素案について

事務局から、宇都宮市への「令和6年度予算化・措置要望」素案について説明を行った。委員からの主な意見は以下のとおり。

- (ア) 市が単年度予算で事業を決めるため仕方ないかもしれないが、素案を通じて未来への展望が見えにくい。
また、直近のデータを活用して要望を行うことも必要であると思う。
 - (イ) 未来に対する長期的な視点も必要ではないか。
 - (ウ) 市は単年度ごとの予算編成であるため、素案が短期的視点となることは仕方ないのかもしれないが、長期的な視点も必要であると思う。
 - (エ) さまざまな業種や企業に対して、公平性を保つことを優先することが良いのか考える素案であった。点となる要望が線となり互いに結び付くといい。現状の宇都宮の状況を見た印象である。
- ➡ 委員からの意見を踏まえ、素案への反映を検討することとした。

(2) 第2回

ア 第6期中期事業計画1年目の中間報告について

事務局から第6期中期事業計画の1年目の中間報告について説明を行った。委員からの主な意見は以下のとおり。

- (ア) 窓口・巡回相談の件数を見て、会員にとって身近であり、重要であると感じた。
 - (イ) 窓口相談の件数から、事業者は目の前の問題をどうしようというニーズがあり、相談に行っているというニーズが感じられる。件数の多さに驚いている。
 - (ウ) 会員ニーズに沿ったセミナーを行うことが大切だと感じる。業種や内容が広範囲のため、セミナーの数が多く、ピンポイントで聞きたいものが見つかりにくい。窓口業務からニーズを掘り起こしてほしい。
 - (エ) 観光産業について、栃木県全体にお金を落としてもらえよう考え方ができるとよいと思う。セクショナリズムなどなく、市を超えた連携ができるといい。
 - (オ) 大谷地区は夜の照明が少ないため暗く、道路すらも見えなくて分かりにくい。飲食店が出店しても撤退するところも出ている。飲食店はやはりお酒が儲かるので、夜が暗いと人出が少なくなり、飲食店が継続することが難しい。周囲からも、夜の照明について意見が多い。
 - (カ) 大谷地区は夜の照明が少ないため暗く、道路すらも見えなくて分かりにくい。飲食店が出店しても撤退するところも出ている。飲食店はやはりお酒が儲かるので、夜が暗いと人出が少なくなり、飲食店が継続することが難しい。周囲からも、夜の照明について意見が多い。
 - (キ) 事業が膨大だと感じる。中小零細企業にとって今すぐに必要かの有無を分けて、事業の優先順位をつけると良いのではないか。
- ➡ 委員からの意見を踏まえ、今後の事業への反映を検討することとした。

イ 宇都宮市への「令和6年度予算化・措置要望」について

委員からの意見は、特に無かった。

ウ 創立130周年記念事業の実施結果について

委員からの意見は、特に無かった。

3 令和6(2024)年度

(1) 第1回

ア 提言・要望事項に伴うアンケート調査報告書について

委員からの意見は、特に無かった。

イ 宇都宮市への「令和7年度予算化及び措置要望」素案について

(ア) 観光振興については、宇都宮市で都市ブランド戦略を策定しているが、都市ブランド戦略として、宇都宮市は都市計画を主に進めてきたため、観光について具体的な動きがあまりない状況である。

一般の人から見たら、観光と都市計画は異なるものではないため、可能であれば観光の観点もまちづくりの要望に加えてもらいたい。

(イ) カーボンニュートラル実現やライトラインの JR 宇都宮駅西側延伸にも通じるが、公共交通をいかに上手く活用したまちづくりをするかということを検討してほしい。ウォークアブルなまちづくりに対しては、将来を見据えて、公共交通とタクシーも含めて、行き来しやすいまちづくりをお願いしたい。

(ウ) ライトラインに係る JR 宇都宮駅西側延伸について、西側延伸という言葉が何気なく使われている。これは、東側から西側に伸ばすという意味だと思われるが、ライトラインの目的の一つに、東西をつなぐというのがあり、必要だとは思うのだが、JR との調整等で時間がかかっていると感じている。

そのため、まず西側を作っていないと進まないのではないかと思う。

そのため、素案の「西側延伸」という言葉を「西側着手」という言葉に変えられないか。経済界からは、そういう話ができるのではないか。

➡ 委員からの意見を踏まえ、素案への反映を検討することとした。

(2) 第2回

ア 第6期中期事業計画2年目の中間報告について

事務局から第6期中期事業計画の2年目の中間報告について説明を行った。委員からの主な意見は次のとおり。

(ア) 宇都宮商工会議所の事業には、「宇都宮商工会議所だからできること」と、「情報提供など入口のみを紹介して専門機関へ繋ぐこと」の2タイプの事業があると捉えており、そこを明確にしていくことも必要だと思われる。

(イ) 創業支援事業について、創業した後の支援について、宇都宮商工会議所でできることを明確にしていくことが大切だと思う。商工会議所でどこまで支援するのかが検討が必要。他の事業においては、数字ではとらえられない実績もあるため、実績がないから実施しないという結論でもないと思われる。

(ウ) 中間報告の内容を見ると、宇都宮商工会議所の活動が大変多いと感じる。会議やイベントに参画した、という報告もあるが、会議に参加したことでもどのような付加価値を生み出したのかということに記載できると、なお良いのではないかと思う。

(エ) 選挙も終わり、栃木県知事と宇都宮市長が続投することとなったので、L R T の J R 宇都宮駅西側延伸に向けて盛り上がっていくと思われる。宇都宮商工会議所として、ぜひ応援できればと思う。市民の皆さまに理解をしてもらい、街なか全体で西側延伸を望む雰囲気を醸成できればと思う。

➡ 委員からの意見を踏まえ、事業への反映を検討の上、実施することとした。

4 令和7年度

(1) 第1回

ア 提言・要望事項に伴うアンケート調査報告書について

委員から特に意見はなかった。

イ 宇都宮市への「令和8年度予算化及び措置要望」(素案)について

事務局から宇都宮市への「令和8年度予算化・措置要望」(素案)について説明を行った。委員からの主な意見は次のとおり。

- (ア) 取引適正化について、建設業以外に拡充していただけることは大変有難い。

最近の行政の入札について、予算額が低いため入札不調(落札者が決定しない状態)が続いている。

随意契約について、宇都宮市は10万円以下が条件である。県内の他市町では、5万円以下もある。県外では、20~30万円以下を条件とするところも出ている。随意契約の条件を上げてほしいという要望ができるかどうか分からないが、条件を上げてほしいという要望はある。

他企業では、本来の予算は10万円以上であるものの、随意契約を取りたいために10万円以下に予算を下げる場所もあると聞いている。

- (イ) Wi-Fi スポット増設の要望は、大変有難い。大谷地区や餃子通りだけでなく、人が集まる所はWi-Fiが繋がりにくいため、大変良い要望だと思う。

- (ウ) 外国人労働者やインバウンド旅行者について、外国人が多く街中に来るようになり治安が悪くなるケースが出ている。そのような問題について、何か対策ができないだろうか。

- (エ) LRTの西側延伸が延期になったことについて、よく質問を受ける。

ただし、西側延伸は決まっていることなので、遅れたとしても実行される。今後は西側延伸から視点を変えて、駅西側のまちづくりに視野を変えて話し合う段階に入っていると考える。

- (オ) インフレと失業率はトレードオフの関係にあるため、今後の失業率の増加を見越したセーフティネットについても要望を行ってはどうだろうか。

- (カ) 県出身のアーティストが発表の場を求める場合、東京に出てしまう。

県内芸術祭の知名度が低く、アーティストのニーズに合っていないのが理由である。

大学生のアーティストの目標が、就職になっている。もし、知名度の高い芸術祭などで受賞できれば、アーティストとしてデビューできるかもしれない。そのような支援は、地元として行っていった方がいいと考える。

デビューできるまでの発表の場が少ないため、地元として支援しても良いのではないか。

- (キ) 特に、AI関連についてトレンドが早いスピードで変わっている。

商工会議所からAI関連の情報提供を行ってほしいし、本委員会もオンライン開催にしたら参加者が増えると思う。

- (ク) 人材について、若い女性が県外の大学に進学した後、就職などで戻ってこないことが大きな問題と思われる。

- ▶ 委員からの意見を踏まえ、素案に反映できる内容について検討を行うこととした。

(2) 第2回

ア 第7期中期事業計画（素案）について

事務局から、第7期中期事業計画（素案）について説明を行った。

委員からの主な意見は次のとおり。

- (ア) 計画期間の令和8年度から令和10年度は、時代の変わり目と言える。私たちも価値観を変えていかなければならない時代だと思う。
- (イ) 起業して挑戦してみたいという人が減っていると感じる。起業して、何かに挑戦することが素晴らしいという発想が大切である。経営者の仲間同士で、後継者候補が自分と同じ感覚で事業をしていなかったり、そもそも事業に魅力を感じていないという悩みを聞く。それは、地域の疲弊に繋がっていく。事業を行うことは、楽しくて夢があるという情報発信をしてほしい。
- (ウ) 創業希望の方が来社して名刺や判子を作りたいという注文がよくある。そのようなお客様に、「困ったことがあったら商工会議所に経営相談に行ってみたらどうか」という話をさせてもらっている。しかし、お客様からは、「商工会議所は敷居が高いから行きにくい」という返答が返ってくる。
宇都宮商工会議所では、良い事業を行っているのもったいないと思う。商工会議所事業について、分かりやすく利用してもらいやすいよう発信してほしい。
- (エ) 計画期間中であっても、時代の変化に合わせて事業の変更や見直しを行ってほしい。
- (オ) 景気が上向いてきている一方、利益を上げている事業者と、利益を上げられていない事業者の二極化が進んでいる。その結果、企業規模が小さい事業者から経営に行き詰ってしまう。素案にも記載しているように、事業者の声を聴いて掬い上げていく取り組みが重要だと思う。
- (カ) 商工会議所単体で行っている事業は少なく、行政や他団体と連携して実施している事業が多い。自分の若い頃は、簿記を実施している団体というイメージが強かった。若い事業主や後継者に、宇都宮商工会議所の事業が伝えることが重要ではないか。青年部は、人数が多いと聞いている。商工会議所として青年部の活動を理解して、支援しながら連携していく体制も必要なのではないか。それは、組織にテコを入れることとなり組織強化に繋がるのではないか。
- (キ) 青年部や女性部と連携することにより、宇都宮商工会議所の組織活性化に繋げてほしい。
 - ▶ 委員からの意見を踏まえ、反映できる内容について修正を行うこととした。

イ 宇都宮市への「令和8年度予算化・措置要望」について

委員から特に意見はなかった。

Ⅲ 次期総務企画委員会における取り組みについて

当委員会の調査・研究事項については、「政策提言、要望に関すること」、「商工会議所の組織、事業運営、財政の健全化に関すること」、「その他、他委員会に属さないこと」となっており、宇都宮商工会議所の根幹に関わる事項である。

今期の活動は主に「第6期中期事業計画の検証」「宇都宮市への予算化措置要望」等に関して検討するとともに、令和7年度に策定する「第7期中期事業計画（素案）」「第7期中期財政計画（素案）」についても検討を行った。

今まさに我が国の経済は、長引く停滞から変革への転換期を迎えている。

また、宇都宮市においては、持続可能な「スーパー・スマートシティ」の実現に向けて各種施策を積極的に展開している。

については、当委員会の取り組みを通じて、「宇都宮地域」の経済好循環の実現と、魅力ある地域づくりにつながることを期待する。